

2-3-2 津波災害リスクと土地利用の重ね合わせ

(1) 津波浸水想定区域と市街化区域および防災拠点との重ね合わせ

津波浸水想定区域における市街化区域および防災拠点の状況を把握した。概要は以下のとおりである。

- ・信濃川河口に位置する新潟西港周辺では、市街化区域が津波浸水想定区域に含まれる。(図 2-35 参照)
- ・津波浸水想定区域は市内の全面積の約 0.3% (約 2km²)、津波浸水想定区域に居住する人口は全市人口の約 0.8%に相当する約 7,000 人となっている。(図 2-35、表 2-8 (P49) 参照)
- ・津波浸水想定区域の面積の約 51%が市街化区域に指定されている。(図 2-35、表 2-8 (P49) 参照)
- ・津波浸水想定区域内には、屋内避難所となっている学校が 1 校、消防署 (出張所) が 1 箇所、要援護者施設が 2 箇所含まれている。(図 2-35 参照)
- ・広域避難所に指定されている西海岸公園の一部が、津波浸水想定区域に含まれている。(図 2-35 参照)

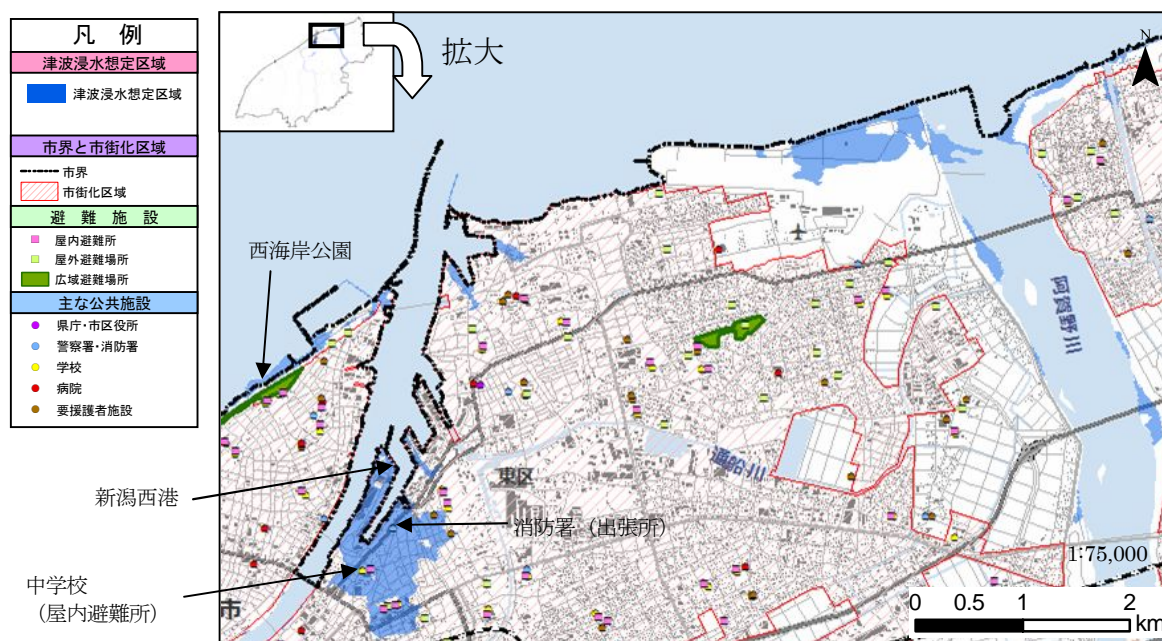


図 2-35 津波浸水想定区域と防災拠点

(2) 津波浸水想定区域と DID との重ね合わせ

昭和 35 年時点 DID、昭和 35 年から平成 17 年の間に新たに DID 化した地域における津波浸水想定区域の状況を把握した。概要は以下のとおりである。

- ・市街化区域にかかる津波浸水想定区域の大部分は、昭和 35 年時点での DID に含まれている。平成 17 年時点の DID では、新潟空港周辺の一部が含まれる。(図 2-36 参照)

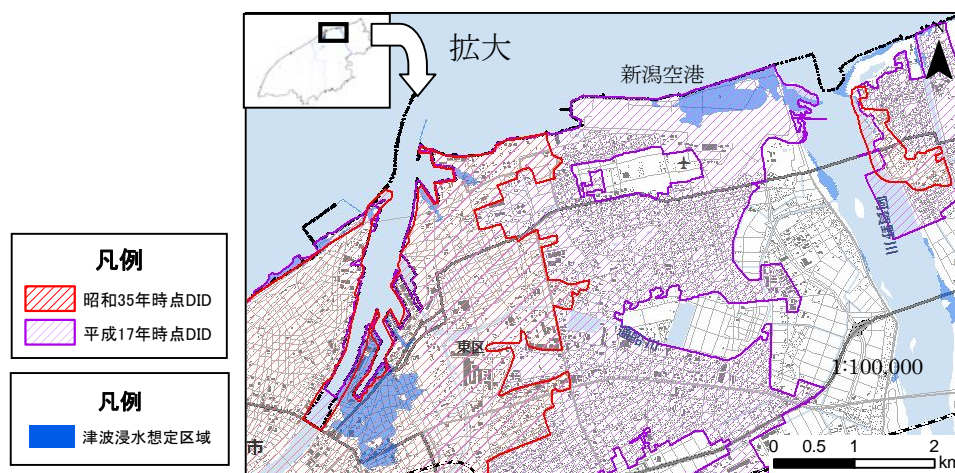


図 2-36 津波浸水想定区域図と市街化区域、DID の重ね合わせ図

(3) 津波浸水想定区域と高齢化率および昼夜間人口比との関係の分析

津波浸水想定区域において高齢化率の高い地域、昼夜間人口比の大きい地域の状況を把握した。概要は以下のとおりである。

- ・津波による浸水が想定される区域には、新潟西港周辺や新潟空港周辺など、昼夜間人口比が高い地域が含まれている。(図 2-37 参照)

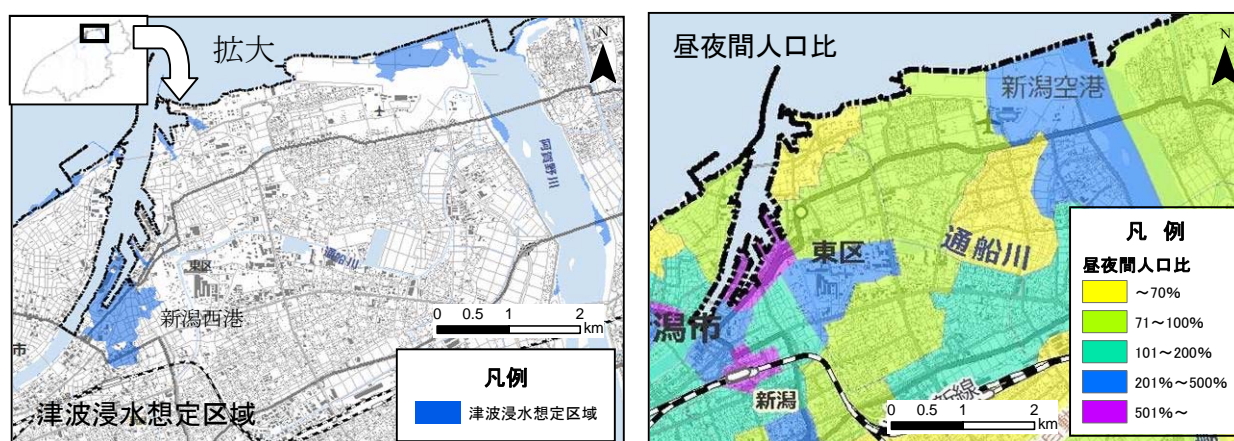


図 2-37 津波浸水想定区域における社会特性